

2025 年度 大学院社会学研究科 修士課程
【秋期一般選考】入学試験

論文試験問題

2024 年 8 月実施

【 注 意 事 項 】

1. 「解答はじめ」というまで開いてはいけない。試験時間：10 時 00 分～13 時 00 分。
2. 問題は 6 枚、解答用紙は 6 枚（1 題につき 3 枚で 1 組）である。下書用紙 1 枚は自由に使ってよい。
3. 解答は、日本語または英語のどちらかで書くこと
4. 解答用紙は残らず回収するので、記入していない用紙を含めすべての用紙に受験番号、問題番号および問題名を正確に記入すること。
5. 解答用紙が不足する場合は、監督員に申し出ること。
6. 次のページの問 1 ～問 18 の問題のうちから主論文 1 題・副論文 1 題を選び、それぞれ別々の解答用紙（1 題につき 3 枚で 1 組）に解答を記入しなさい。
 - ①解答にあたっては、解答用紙上段に主論文・副論文の別を示す欄があるので、該当する方を○でかこみなさい。
 - ②主論文は自分が所属することを志願する研究分野（志願票に記入した研究分野）から問題を選択しなさい。研究分野とは【社会学研究】【共生社会研究】【歴史社会文化研究】【超域社会研究】までの 4 つの分野をさす。
 - ③副論文については、研究分野を問わず、どの問題からでも選択できる。ただし、主論文として選択した問と同一の□で囲まれた別の問から選択することはできない。そうした場合は採点対象外となる。例えば主論文で問 1－(1)を選んだ場合は、副論文で問 1－(2)を選ぶことはできない。
 - ④解答用紙上段に選択した問題番号と問題名を明記すること。

《記入例》 問 1－(2) 社会学研究 I（社会理論）を選択した場合

問題番号	問 題 名
問 1－(2)	社会学研究 I

【社会学研究】

1. 社会学研究Ⅰ（社会学理論）

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問1－（1）

「権力」は社会学において、さまざまな形で概念化や議論が行われてきた。このことに関連して、次の問いに順に答えなさい。

- （1）「権力」を、二つ以上の著名な理論家やその系譜に依拠して、簡潔に定義しなさい。
- （2）任意の事例を取り上げ、複数のリサーチ・クエスチョンを設定し、どのような権力の概念を用いることが妥当であるのかを議論しなさい。

問1－（2）

社会学は、いかなる意味において経験科学であり、いかなる意味において規範科学であると言えるか、あるいは言えないか。具体的な学説・理論を検討しつつ論じなさい。

2. 社会学研究Ⅱ（社会学方法論）

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問2－（1）

ポスト構造主義は、ジェンダー研究にいかなるインパクトを与えたか。方法論的視座から論じなさい。

問2－（2）

社会的なものは、一見そうでないものと、どのように関わり合いながら展開しているか。またその状況を、どのように社会的に扱えばよいと考えるか。以下の項目のうち1つ以上を取り上げ、具体例を挙げながら論じなさい。

知識／インフラ／開発／交通／鉄道／時間／地形／アクター・ネットワーク理論／マネジメント

3. 社会学研究Ⅲ（社会学各論）

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問3－（1）

次の（ア）、（イ）について、それぞれ説明しなさい

- （ア）歴史社会学の特徴をよく表す既存の研究を具体的に1つ挙げ、その研究内容の要点を説明するとともに、歴史社会学の特徴を論じなさい。
- （イ）歴史社会学とは異なるものとして「歴史の社会学」が議論されることがある。「歴史の社会学」とはどのようなものかについて、関連する研究を具体的に説明しながら、歴史社会学との相違点について論じなさい。

問3－（2）

移民の「社会統合」はどうあるべきか、また、その課題は何か。移民の「社会統合」を測る上で重要だと思われる指標を一つ以上示し、あなた自身の考えを具体的な事例と学説に沿って述べなさい。

【共生社会研究】

4. 共生社会研究Ⅰ（教育と社会）

問4

学習と教育は、今日の社会状況のなかでいかなる関係にあるか。具体的な事例を示しつつ、教育学を含む社会科学の諸理論を踏まえながら論じなさい。

5. 共生社会研究Ⅱ（人間形成／文化精神医学）

問5

「声を上げづらい人たち」や「不可視化されてきた人たち」への支援と、そこで生じる葛藤について、具体的事例をあげつつ、人間形成論あるいは文化精神医学の観点から考察しなさい。その際、一つ以上の学説に言及すること。

6. 共生社会研究Ⅲ（スポーツ社会学）

問6

近年、スポーツにインテグリティ（誠実さ・高潔さ・品位）が求められるようになったのは、どのような事情によるものか。またスポーツのインテグリティが脅かされる場面を具体的にひとつあげ、近代スポーツの特性に言及しながら、なぜそのような状況が生まれるのか、社会学的に考察しなさい。

7. 共生社会研究Ⅳ（社会政策）

次の3問から1問を選んで答えなさい。

問7－（1）

セーフティネット（social safety net）と福祉国家（welfare state）との関係について、それぞれの概念の定義を述べつつ説明しなさい。

問7－（2）

日本における「限定正社員」について、既存研究に言及しながら論じなさい。

問7－（3）

プレイスメイキングを定義した上で、近年日本の公共的空間においてプレイスメイキングが必要とされている理由と、その普及に伴う課題について論じなさい。

【歴史社会文化研究】

8. 歴史社会文化研究Ⅰ（日本史）

次の4問から1問を選んで答えなさい。

問8－（1）

中近世移行期研究の現状と課題について、具体的な研究者名や研究成果などに言及しつつ論じなさい。

問8－（2）

「日本近世における歴史叙述と支配層・思想家・民衆」というテーマについて、具体的な事例に即して論じなさい。

問8－（3）

社会運動に着目して近現代日本の歴史研究をおこなう意義について、具体的な研究や事例を挙げつつ論じなさい。

問8－（4）

大日本帝国憲法（明治憲法）の下において政党内閣（1918～1932年）が成立したのはなぜか、また政党内閣が結果的に定着しなかったのはなぜか、当該期の国制・国際関係・経済構造・社会運動に適宜言及しつつ、論じなさい。

9. 歴史社会文化研究Ⅱ（アジア史）

問9

近代アジア（ただし日本を除く）における民族問題に関する研究史上の到達点と課題について、アジアの任意の地域、時期に即して論じなさい。なお、ここでいう近代とは19世紀中葉から1945年までのことを指す。

10. 歴史社会文化研究Ⅲ（アメリカ史）

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問10－（1）

18世紀から現代に至るアメリカ合衆国史において、「植民地」がもった歴史的意味について自由に論じなさい。その際、具体的な先行研究や事例をあげて論じること。

問10－（2）

アメリカ合衆国史における「社会運動」の歴史的意義について、研究史をふまえつつ論じなさい。その際、人種やジェンダー、階級等の要因がからまり合って運動に及ぼす影響に注目しながら、具体的な事例をあげて論じること。

11. 歴史社会文化研究Ⅳ（ヨーロッパ史）

問11

近現代ヨーロッパ史を中心にナショナリズム研究において近年注目されている「ナショナル・インデューファレンス（国民への無関心）」の概念、研究動向を、任意の事例、先行研究に基づいてまとめなさい。その際、この概念の可能性と課題についても考察しなさい。

12. 歴史社会文化研究Ⅴ（哲学・社会思想史）

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問 12－（1）

哲学（倫理学を含む）における学術的主張が正当化される際の根拠と仕組みについて、具体的な哲学研究を例として挙げつつ、自身の見解を述べなさい。

問 12－（2）

社会とは人為的産物であり、そのなかで人々が従っている規範や慣習などは人間のあいだでの約束にほかならないとする学説について、詳しく論じなさい。そのさい、①この学説はどのような歴史的文脈において出てきたか、②それは「自然の善悪が存在する」という意見をどう扱うか、③それはどのように批判されうるか（または実際にどう批判されたか）、以上の3つの問いへの回答を含めること。

13. 歴史社会文化研究Ⅵ（文芸思想）

問 13

文学テキストにおける作者の役割とは何か、批評家による代表的な議論を複数挙げながら論じなさい。

14. 歴史社会文化研究Ⅶ（言語学）

問 14

日本語書記における漢字使用の特質について、他の漢字文化圏の状況と比較・対照しつつ、言語学的観点から所見を述べなさい。

【超域社会研究】

15. 超域社会研究Ⅰ（社会心理学）

次の3問から1問を選んで答えなさい。

問 15－（1）

社会的アイデンティティ理論や自己カテゴリー化理論とはどのような理論か説明しなさい。また集団への所属や集団の認知が①偏見や差別、または②うつや人生満足度の心理的ウェルビーイングとどう関係するか、最近の知見も交えて①か②のいずれかについて説明しなさい。

問 15－（2）

文化的文脈が心理傾向に与える影響と、社会経済的環境が心理傾向に与える影響との関係について、具体的な実証研究例をあげつつ、多面的にとらえ、論じなさい。

問 15－（3）

次の（A）、（B）について、それぞれ説明しなさい。

- （A）インターネットが「個人の選好」を強化する仕組み
- （B）相関係数

16. 超域社会研究Ⅱ（社会／文化人類学）

問 16

次の（1）、（2）の両方に答えなさい。

- （1）（A）、（B）について、それぞれ簡潔に解説しなさい。
 - （A）ブリコラージュ
 - （B）厚い記述
- （2）情動について人類学的に論じなさい。

17. 超域社会研究Ⅲ（政治学）

次の4問から1問を選んで答えなさい。

問 17－（1）（政治学・政治行動論）

選挙制度が候補者や政治家の（a）掲げる政策位置や、（b）集票戦略に与える影響及びそのメカニズムについて、政治学ではどのような知見が得られているか。関連する政治学の先行研究を4点以上取り上げながら、多角的に議論しなさい。なお、先行研究に言及する際は、当該研究の著者名及び出版年を明記すること。

問 17－（2）（比較政治・政治理論）

「ポピュリズム」と呼ばれる政治現象の背景・意義・限界について、一か国以上の事例を挙げ、関連する理論・学説に言及しつつ論じなさい。

問 17－（3）（政治コミュニケーション論）

Research on negative campaigning in democracies has grown rapidly in recent decades. What is negative campaigning, why do parties engage in it, and is it good or bad for democracy? Answer with reference to a specific election campaign in any country of your choosing.

You may answer in English or Japanese.

問 17－（4）（国際政治）

国際社会における平常時と緊急時における正義の分配（実現）について、どのような理論・思想・考えが平和に寄与するか、以下の5つのキーワードのうち必ず3つを用い、それぞれを定義して論じよ。

（キーワード）

ロールズの正義論（第1原理と第2原理）

潜在能力（ケイパビリティ）

軍事介入（人道的介入）の5つの要件

保護する責任の基本原則2つ

複合型パワーシェアリング

18. 超域社会研究Ⅳ（環境と社会）

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問 18－（1）

都市のジェントリフィケーションによって生じる諸課題と、その背景要因について、人文地理学におけるこれまでの議論に言及しつつ、具体例を示しながら説明しなさい。

問 18－（2）

環境配慮行動を促進するために、どのような政策や施策が有効か、具体的な例を挙げながら記述しなさい。